

新型コロナウイルス感染症対策に関する決議

中国・武漢市から端を発した新型コロナウイルスによる感染症が急速な勢いで世界中に拡大し、アメリカ合衆国やヨーロッパを中心に猛威を奮い、まさにパンデミックの状況下にある。

そのような中、当市においても、感染者が増加の一途をたどり、学校の一斉休業や大規模イベントの自粛要請などにより、市民生活や地域経済に多大な影響を及ぼし、埼玉県内において人口当たりの感染者数が最多となるという危機的な状況を迎えている。

このような未曾有の難局に対し、引き続き、状況に応じた対策を迅速かつ的確に講じていく必要がある。

よって、今こそ、「公務員の底力」を発揮して、市において、特に下記の事項を実現されるよう強く要望する。

記

- 1 市民が「よきふるさと所沢」と心から思えるようにもっとスピード感のある市独自策を講じること。
- 2 埼玉県、医師会、独立行政法人国立病院機構西埼玉中央病院、及び防衛医科大学学校病院と更なる連携を図り、民間検査機関の活用も含め、PCR 検査、抗体検査、抗原検査、発熱外来診療等も含めて、相談、検査、治療を市民が安心して受けられる充実した医療提供体制を更に構築すること。
- 3 医師、看護師、医療従事者、介護福祉士、ヘルパー等の医療介護の現場と経営体制を支援し、感染リスクを抱えながら最前線で活動する方へ財政的支援も含めた所沢市独自の支援策を実施すること。
- 4 「健幸長寿のまち」を実現するために困窮者に対する経済的支援、弱者に対する心のケアを継続的に行うこと。
- 5 売り上げが減少した中小企業、個人事業主、フリーランス等に対する継続的な経済対策を施し、雇用と命を守ること。
- 6 「子どもが大切にされるまち」を実現するために長期戦を覚悟して、教育環境での「フィジカルディスタンスの確保」、「密閉・密接・密集(3つの密)を避けるため」に分散登校、余裕教室の活用、インターネットを活用したオンライン授業の措置を講ずる等、国や埼玉県の決定を待たずとも、独自の教育環境を整備すること。
- 7 市民間の無用な混乱や誤解が生じないよう、情報開示の基準を明らかにした上で、

感染者の最新情報と市が講ずる対策、進捗を迅速に発信し、よりわかりやすく広報すること。

- 8 感染拡大の恐れのあるイベント等中止、延期は致し方ないものの「音楽のあるまちづくり」を始め、文化活動をしている市民・民間を支援して、決して文化の灯を消さぬように知恵を絞って取り組むこと。
- 9 今こそ、覚悟を持った財政出動が必要な時であり、ひるむことなく、必要であるならば借金してでも新型コロナウイルス感染症対策を実施すべきである。
- 10 新型コロナウイルス感染症対策に必要な予算を創出するために年度当初に予定されていた事業を凍結又は縮小し、組み替えを行うこと。
(凍結候補事業・予算)
 - ・東京オリンピック・パラリンピック推進事業
 - ・市制施行 70 周年記念事業
 - ・所沢カルチャーパーク築造事業(築山)
 - ・感染拡大が懸念される事業・イベント・催し物
 - ・道路予定地を除いた土地購入費 等

以上、決議する。

令和2年5月13日

所 沢 市 議 会